

吉田 聡

YOSHIDA, Satoru



情報メディアセンター副センター長
准教授

所属…人間形成教育センター

URL <http://misc.kankyo-u.ac.jp/~satoru-y/>

Profile

■ 主な担当科目 微分積分学, 線形代数学, 数理基礎

■ 研究者略歴

- 2003 (平成15) 年 3月 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程 修了
- 2005 (平成17) 年 8月 産業技術総合研究所・産総研特別研究員
- 2009 (平成21) 年 8月 鳥取環境大学情報システム学科講師
- 2013 (平成25) 年10月 鳥取環境大学人間形成教育センター准教授
- 2015 (平成27) 年 4月 公立鳥取環境大学人間形成教育センター准教授

Research

■ 取得学位 博士 (情報科学) (北陸先端科学技術大学院大学)

■ 専門分野 数理論理学

■ 現在の研究テーマ

- ・ 解析学理論の計算可能性の研究
- ・ 数理的技法によるコンピュータシステムの検証に関する研究

■ 所属学会 日本数学会, 日本科学哲学会

Data

■ 研究等活動

【報告書】

・ 吉田聡, ソフトウェア更新システムプロトコルの様相論理S4に基づく検証, 2016年3月, 公立鳥取環境大学紀要, vol. 14, pp.95-103.

【口頭発表】

- ・ 吉田聡, On a discontinuous mapping as a certain continuous relation, 2017年12月, RIMS共同研究 (公開型) 「証明論と証明活動」, 京都大学数理解析研究所.
- ・ 吉田聡, システム開発の基盤となる能力育成への大学教育の試み, 2017年9月, Tsukuba Software Science Seminar, 産業技術総合研究所.
- ・ 吉田聡, 構成的数学の体系と実践, 2017年6月, 第179回数学文献を読む会, 共立出版社.
- ・ 吉田聡, 様相論理S4に基づくプロトコル検証, 第27回代数, 論理, 幾何と情報科学研究集会 (ALGI), 信州大学, 2016年8月.
- ・ 岡本圭史・松野裕・吉田聡, D-Case による SysML の説明力向上を目指して, 2015年10月, 信学技報, vol. 115, no. 281, KBSE2015-38, pp. 13-16.
- ・ 吉田聡, 構成的解析学における超関数からなる空間の位相について, 2013年9月, SLAGICS 2013, 京都大学数理解析研究所.
- ・ 吉田聡, 構成的数学の体系とその実践, 2013年3月, 数学の形式化に関する研究集会 (主催:九州大学数理学府グローバルCOEプログラム「マス・フォア・インダストリ教育研究拠点」), アクロス福岡.
- ・ 岡本賢吾・吉田聡・西澤弘毅・細川雄一郎, 連続性と様相-その一般化・非古典化の数理と形而上学, 2010年11月, 科学基礎論学会研究例会, 日本大学文理学部.

■ 社会貢献活動

- ・ 鳥取県立八頭高等学校「探求ゼミ」参加, 平成28年・平成29年度鳥取県立高等学校・大学教員交流事業.
- ・ 鳥取県中高生プログラミングコンテスト (主催:鳥取県情報産業協会, 2013~2017年度) 審査員.
- ・ 第26回代数, 論理, 幾何と情報科学研究集会 (2015年8月) 会場世話人.
- ・ 数学基礎論若手の会2014 (後援:日本数学会数学基礎論および歴史分科会, 2014年11月) 幹事.
- ・ 鳥取環境大学公開講座: 大学で学ぶ数学 -その現状とこれからを考える-, 2014年3月, 鳥取県立図書館・米子市立図書館.